

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	バースピーカー MINI			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	ASP-SB206N	品番	03-2971	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな			
	★お名前			様
お客様	★ご住所 〒			—
	電話 ()			

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話			印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

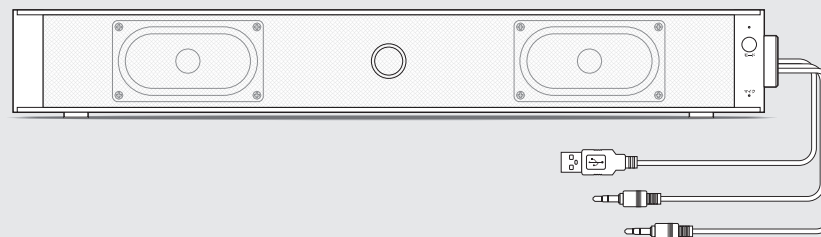
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

バースピーカーMINI

型番：ASP-SB206N 品番：03-2971



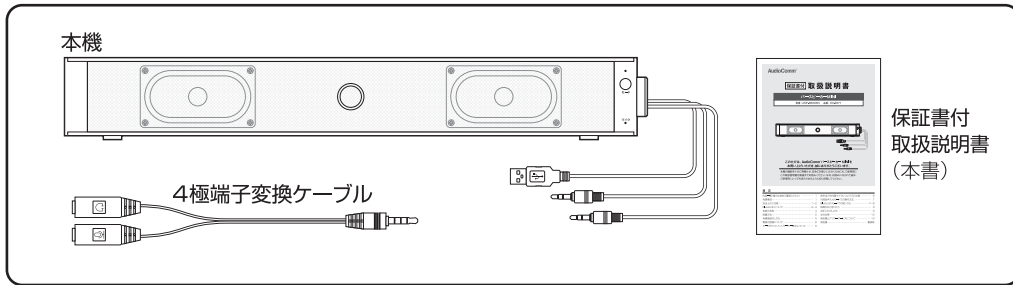
このたびは、AudioComm®バースピーカー MINIをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

内容一覧(箱の中身をご確認ください) ……………	1	音声出力や内蔵マイクについてのご注意 ……………	6
免責事項 ……………	1	外部音声入力モードでの操作方法 ……………	7
安全上のご注意 ……………	1~2	Bluetoothモードでの使いかた ……………	7~8
Bluetoothについて ……………	3~4	故障かなと思ったら ……………	9
各部の名称 ……………	4	お手入れのしかた ……………	9
設置方法 ……………	5	主な仕様 ……………	10
有線接続のしかた ……………	5	保証書とアフターサービスについて ……………	10
電源の接続について ……………	6	保証書 ……………	裏表紙
モードボタンとインジケータ表示について ……………	6		

内容一覧(箱の中身をご確認ください)



免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「USB-ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

	22cm以上離す 心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。		修理を依頼 USBケーブルが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
	使用を中止する 万一、煙が出てい、変なにおいや音が出るなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る。電源用USB端子も抜く ●火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する。電源用USB端子も抜く ●火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		禁止 医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。 本機やUSBケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルの上に本機をのせない ●ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。 本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない USBケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●破損して火災・感電の原因となります。 狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機やUSBケーブルを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、敷物などで覆わない ●熱がこもって変形したり、火災の原因になることがあります。
	接触禁止 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びUSBケーブルに触れない ●落雷や感電の原因となります。		
	水かけ禁止 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。		
	分解禁止 分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。		

注意

	ぬれた手で操作しない ●感電の原因となることがあります。		禁止 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
	大音量で聴き続けない ●大音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	禁止 暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。 シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。 電源用USB端子を抜くときは、ケーブルを引っ張らない ●ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ず端子部を持って抜いてください。 ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 日本国以外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行う無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

【対応プロファイル】 HFP、A2DP、AVRCP

※本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

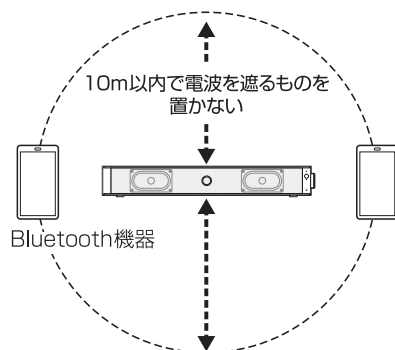
本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

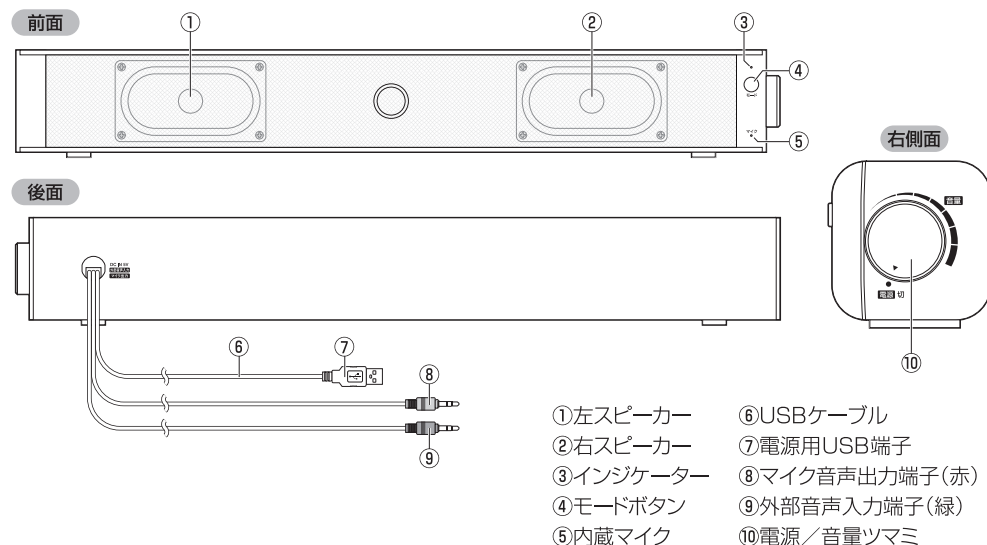


Bluetoothについて(つづき)

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

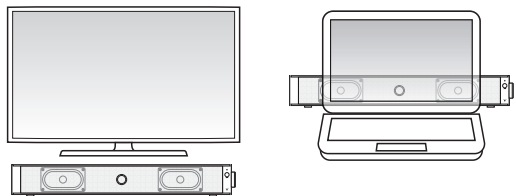
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・ 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・ 病棟内では本機を使わない。
 - ・ ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・ その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称



設置方法

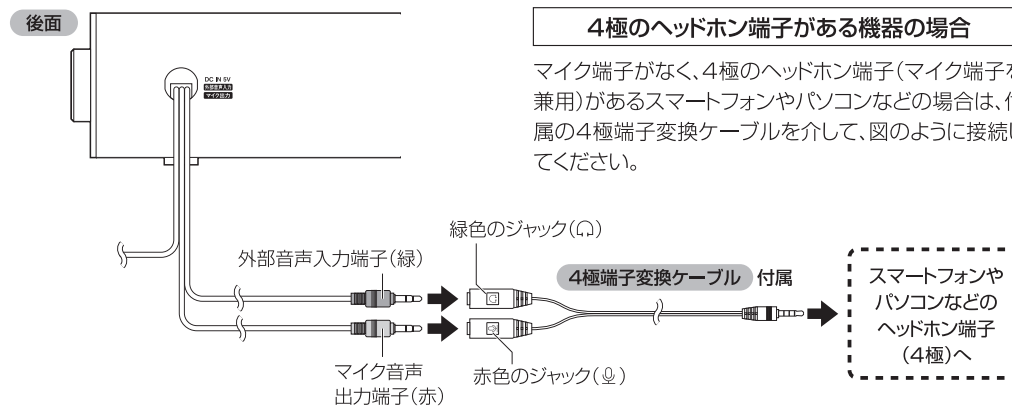
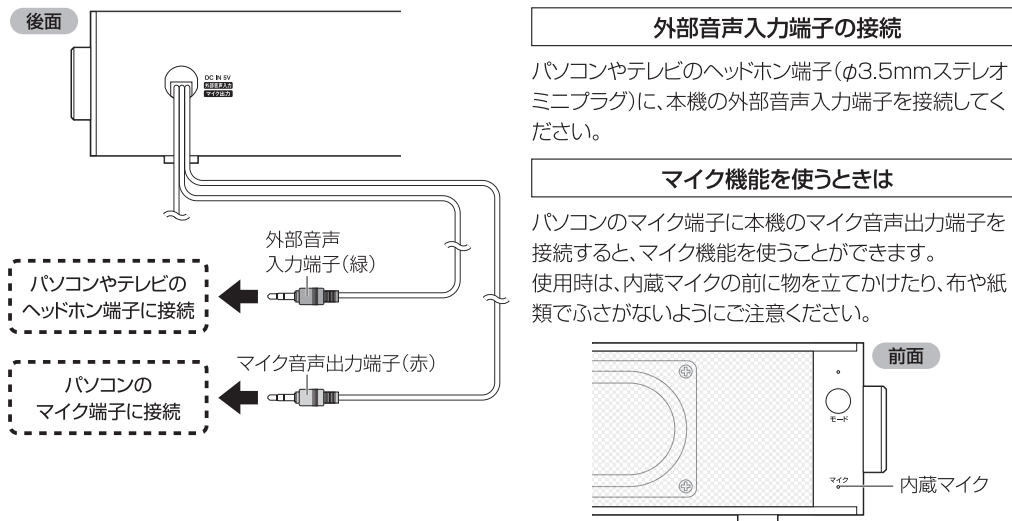
パソコンの場合はパソコンの後ろに置いて、テレビの場合はテレビの前に(小型テレビの場合は後ろでも可)置いて、お使いになることをおすすめします。



ご注意

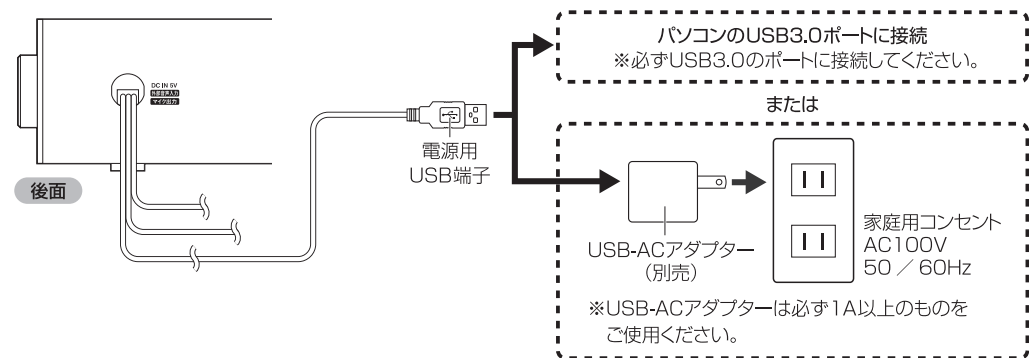
- テレビの前に置くとときは、テレビのリモコン信号受信部がさえぎられないようにしてください。

有線接続のしかた

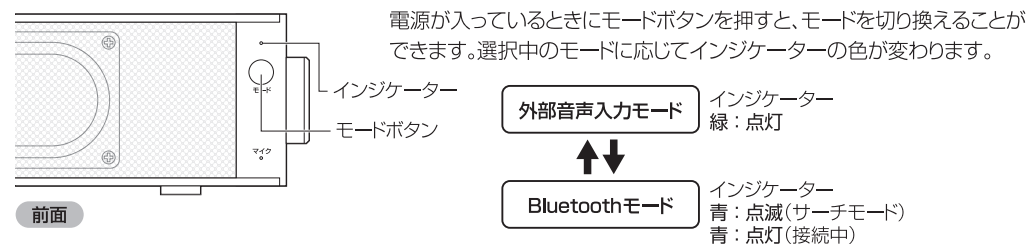


電源の接続について

本機の電源用USB端子を、パソコンのUSB3.0ポートに接続します。USB3.0ポートがない機器(テレビやポータブルCDプレーヤーなど)の外部スピーカーとして使うときは、別売のUSB-ACアダプター(1A以上)を介して家庭用コンセントに接続してください。



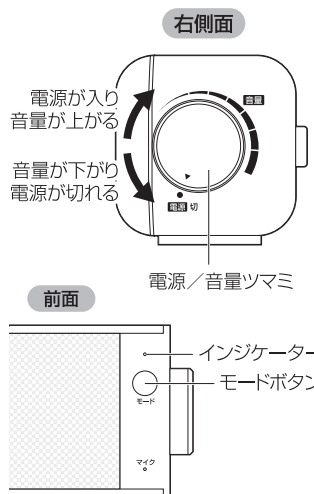
モードボタンとインジケータ表示について



音声出力や内蔵マイクについてのご注意

- テレビと接続するときは：テレビ側で音声の出力先の設定が必要な場合があります。
⇒テレビ付属の取扱説明書などを参照して、正しく設定してください。
- パソコンやスマートフォンなどと接続するとき(有線接続・Bluetooth接続共通)：
 - ・パソコンやスマートフォン側で音声出力先や音量レベルの設定・調整が必要な場合があります(例：接続元の音量レベルが低いと、本機からの音量も低くなります)。
 - ・本機のマイク機能を使うときは、パソコンやスマートフォン側で、外部マイクの設定や入力レベルなどの設定・調整が必要な場合があります。特にスマートフォンと接続中に電話着信があった場合、設定が正しくないと、着信音が鳴らない(聞こえない)、通話音声が小さい、こちらの音声が相手に聞こえないなどの原因となりますので、ご注意ください。
 - ・本機のマイクを使って通話するときは、マイク部をふさいだり、遮蔽物を置かないでください。また、マイクまで距離があると、相手に聞こえないことがあります。
 - ⇒使用時に本機から音声が正しく出力されないときや、本機マイクが正しく動作していないと思われるときは、接続した機器付属の取扱説明書などを参照し、設定をご確認ください。
- 音量調節時のご注意(有線接続・Bluetooth接続共通)：
 - ・音量調節は本機及び相手側機器のどちらでも可能ですが、外部機器や相手側機器の音量設定を小さくし、本機の音量設定を大きくしすぎると、別のモードに移ったときに大音量になるおそれがありますので、十分にご注意ください。

外部音声入力モードでの操作方法

- 
- 右側面**
- 電源が入り
音量が上がる
- 音量が下がり
電源が切れる
- 電源 / 音量ツマミ
- 前面**
- インジケータ
- モードボタン
- マイク
- 外部機器(音源となる機器)の電源を入れた後、電源 / 音量ツマミを時計まわりに回して電源を入れます。
 - 「Power On」の音声が流れ、電源が入ります。
 - 外部機器側の音量が大きすぎたり、小さすぎたりしないよう適正に調整してから、本機の電源を入れてください。
 - モードボタンを押し、外部音声入力モードにします。
 - 外部音声入力モードにすると、「Auxiliary(オクシラリー)」の音声が流れ、インジケータ(緑)が点灯します。
 - 外部機器側で再生などの操作をします。
 - 音量を調節します。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。
 - 終了するときは、電源 / 音量ツマミを反時計まわりに最後まで回して電源を切ります。
 - 「カチッ」と音がするまで確実に回してください。

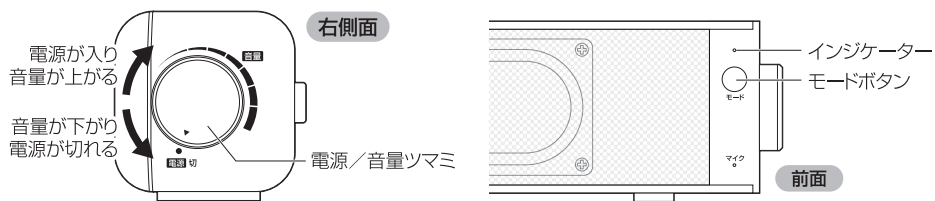
ヒント ●スマートフォン接続中に着信があると、本機での再生が中断し、通話音声スピーカーから出力されます。通話を切ると、音楽などの再生出力を再開します(本機マイクを使った通話については、P.6「音声出力や本機マイク使用についてのご注意」もご参照ください)。

Bluetoothモードでの使いかた

本機では、離れた場所にあるBluetooth対応機器(パソコン、タブレット端末や携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど：相手側機器)の音楽・音声をワイヤレスで聴くことができます。Bluetoothをはじめて使うときは、必ずペアリング(本機を相手側機器に登録する操作)を行なってください。

ペアリングのしかた

- 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。
 - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内になしてください。
 - 相手側機器は電源が入った状態にします。
- 本機の電源 / 音量ツマミを時計まわりに回して、電源を入れます(「Power On」の音声が流れます)。その後、必要に応じてモードボタンを押し、Bluetoothモードにします。
 - Bluetoothモードにすると、「Bluetooth」の音声が流れて、インジケータ(青)が点滅します。インジケータ(青)が点滅しているときは、接続可能な相手側機器を探していること(サーチモード)を示しています。



- 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]

SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]、
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth設定]

au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]

Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「ASP-SB206N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

ペアリングが完了すると…

「Bluetooth is connected」の音声が流れてインジケータ(青)が点灯に変わり、本機を使用できる状態になります。相手側機器で再生などの操作をしてください。再生 / 一時停止や選曲などの操作は、相手側機器で行なってください。本機では音量調節のみ可能です(再生中はインジケータがゆっくり点滅します)。

- 終了するときは、電源 / 音量ツマミを反時計まわりに最後まで回して、電源を切ります。
 - 「カチッ」と音がするまで確実に回してください。

ヒント

- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れてBluetoothモードにすると、自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- スマートフォン接続中に着信があると、本機での再生が中断し、通話音声スピーカーから出力されます。通話を切ると、音楽などの再生出力を再開します(本機マイクを使った通話については、P.6「音声出力や内蔵マイクについてのご注意」もご参照ください)。

ご注意

- 対応プロファイル：本機はBluetooth標準規格 Ver.5.0(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようとしている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- Bluetooth接続中にモードボタンを長押しすると、サーチモードになります(インジケータが速く点滅します)。一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、モードボタンを長押ししてから、ペアリング操作を再度行なってください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフしてから操作をやり直してください。

故障かなと思ったら

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコン接続の場合：電源用USB端子は電源供給ができるUSBポートに接続されていますか。パソコンの電源は入っていますか。スリープモードになっていませんか。 ●USB-ACアダプター接続の場合：本機の電源用USB端子やUSB-ACアダプターなどの接続部が緩んでいませんか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていますか。 ●モードが正しく選ばれていますか。 ●外部音声入力モード時：テレビなどの外部機器と本機が正しく接続されていますか。プラグがゆるんだりしていませんか。 ●外部音声入力モード時：パソコンに接続している場合、パソコン側の音声出力設定が外部スピーカー以外のものになっていませんか。 ●外部音声入力モード時：外部機器側の音量が最小または消音になっていませんか。 ●Bluetoothモード時：ペアリングは正しく行ないましたか。 ●Bluetoothモード時：相手側機器の設定は正しくなされていますか。 ●Bluetoothモード時：相手側機器の音量が最小になっていたり、相手側機器との接続が解除されていませんか。
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> ●モードが正しく選ばれていますか。 ●相手側機器の電源は入っていますか。 ●相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ●相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れるノイズやエコー音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と相手側機器が10m以上離れていませんか。 ●本機と相手側機器の間に遮蔽物がありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
本機のマイクが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンやスマートフォンの外部マイクの設定や入力レベルの設定は正しいですか。 ●本機のマイク部がふさがれていたり、距離が離れすぎていませんか。 ●本機の音量が最小になっていませんか。

※Bluetooth接続時に不具合が起きたときは、本機以外に相手側機器側に原因があることも考えられます。Bluetooth機器を単独で使用したときに同様の症状が出るかどうかをご確認ください。

お手入れのしかた

表面の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で濡らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

主な仕様

電源	DC5V 1A以上(USB給電：USB電源端子)
定格消費電力	10W
定格最大出力	3W+3W
スピーカー	口径50mmスピーカー(3W・4Ω)×2
マイク(内蔵)	全指向性コンデンサー型(感度：-42dB)
音声端子	φ3.5mmステレオミニプラグ×2(外部音声入力/マイク音声出力)
Bluetooth	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver. 5.0
	対応プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP
	対応コーデック：SBC
	変調方式/周波数帯域：FHSS / 2.402~2.480GHz
	最大通信距離：見通し 約10m(Class2)
	再生周波数帯域：50Hz~15kHz(A2DP)
許容動作温度/湿度	温度：0~45℃ 湿度：20~80%(結露なしにて)
外形寸法	幅450×高さ60×奥行60mm(突起物含まず)
質量	約690g
付属品	保証書付取扱説明書、4極端子変換ケーブル(約20cm)、本体装着済ケーブル(ケーブル長：約110cm 端子：外部音声入力、マイク音声出力、電源用USB)

※Bluetoothの最大通信距離は目安であり、使用状況により異なります。
 ※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
 ※本書に記載している商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
 ※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
 ※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。
 ※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
 修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。